

05N031_ABPC

Atezolizumab (Day 1) + Bevacizumab (Day 1) + PTX (Day 1) + CBDCA (Day 1) 3or4週毎 4-6コース

◆ _____月_____日 (Day1) から _____コース実施。 (外来で実施 ・ 入院で実施)

◆ アルコールに対する過敏症はありませんか？ → (有 , 無)

◆ 免疫チェックポイント阻害薬カンファレンス前検査はすべて実施しましたか？ → (はい ・ いいえ)

◆ 検査が実施されない場合、がん化学療法の実施は認められません。

Rp. 商品名	用量 [基準量]	投与方法	Day 0	1	2	3	4	5	6	7
1 アプレピタントCap	125mg (Day1) 80mg (Day2-3)	po		●	●	●				
2 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
3 生食注 (250mL) テセントリク点滴静注	1 袋 1200mg [1200mg/body]	div / ※1 1hr		○						
4 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
5 生食注 (100mL) アバスチン点滴用	1 瓶 _____ mg [15mg/kg]	div / ※2 1.5hr		○						
6 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
7 生食注 (100mL) デカドロン注射液1.65mg ボララミン注5mg ガスター注射液20mg	1 瓶 10 A 1 A 1 A	div / 15min		●						
8 グラニセトロン点滴3mgバッグ	1 袋	div / 30min		●						
9 テルモ生食 (500mL) パクリタキセル注	1 袋 _____ mg [175mg/m ²]	div / 3hr		○						
10 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						
11 ブドウ糖注 5% (250mL) カルボプラチン注	1 袋 _____ mg [AUC 6]	div / 1hr		○						
12 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						

※1 テセントリク注は、初回の忍容性が良好ならば2回目以降は30分で投与可。

※2 アバスチン注は、初回の忍容性が良好ならば2回目60分、3回目以降30分で投与可。

・テセントリク注の輸液は、生食250mL限定

・テセントリク注の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2~0.22 μ m)を使用すること。

・パクリタキセル注投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。

また、点滴用セット等で溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。